

D3

Translaion

Utility Model Application Publication No. S49-47079

Utility Model Application No. S47-089653

Date of filing: July 25, 1972

Title of the invention: Strip packaging

Inventor: Yasuhiro Matsuda

Applicant: Kabushiki Kaisha Kanae

Partial translation

Claim

A strip packaging comprising two sheets of films (1, 1) in which an article (2) is held, opposite surfaces of the upper and lower films (1, 1) are bonded to each other in a portion (4) surrounding a portion which houses the article wherein a portion (5) in which the upper and lower films are not bonded to each other is formed between adjacent bonded portions (4, 4), perforations (6) passing through the unbonded portion (5) are formed and a peeling piece portion (7) is formed in each corner of each packaging.

D3



実用新案登録願

(1,500円)

昭和47年7月25日

特許庁長官 三宅 幸夫 殿

1. 考案の名称 S.P 包 莖 体

2. 考 案 者

住 所 奈良県奈良市鶴舞町1番37-105号
氏 名 松 田 安 弘

3. 実用新案登録出願人

住 所 大阪市旭区高殿4丁目16番11号

氏 名 株式会社 カ ナ エ
(国 籍) 代表者 小 宮 智 和

4. 代 理 人 千 543

住 所 大阪市天王寺区空堀町10番地の15号
電 話 06 (762) 1981
(6711) 弁理士 立 川 登 記 組

5. 提出書類の目録

1 明細書	1 通
2 図 面	1 通
3 願書副本	1 通
4 委任状	1 通

47 059053

式 査 (角)

明 細 書

1 考案の名称

8. P 包装体

2 実用新案登録請求の範囲

2枚のフィルムに物品を挟み、該物品の収納部の周囲において上下のフィルムの対向面を接着してなる8. P包装体において、相隣接した収納部の周辺接着部分間に、上下のフィルムが接着されていない部分を形成し、該接着されていない部分を通つて切り取り線を刻設し、単体の包装体の各コーナー部にめくり片部分を設けた8. P包装体

3 考案の詳細な説明

本考案は2枚の熱接着性フィルムの間に薬剤などの物品を挟み、該物品の収納部分周面においてフィルムの対向面を熱接着してなる8. P包装体（ストリップ、パッケージ）の改良に関するものである。

一般に8. P包装体に使用されるフィルムは防湿性と形態安定性に優れたセロファンと、熱接着性を具備したポリエチレンとが重合されたものが多

く使用され、セロファン面を外側に、そしてポリエチレン面を内側として使用され、薬剤などの物品を上記した積層シートからなる2枚のフィルム間に整列して挟み入れ、物品の収納部分を除く両フィルムの対向面をすべて熱接着し、該接着面に包装物品を1切る切り取り線（ミシン目）を施してS.P包装体となしている。しかしながら最近には内容物保護の点から、防湿効果の高いフィルム、例えばポリプロピレン、サランなどを使用したものが要求されている。しかしこれらポリプロピレン等は熱接着性極めて良好で強力接着するため、使用に際して内容物を取り出す場合、破り出しが極めて困難であるという不都合がある。即ち、切り取り線を割断した単体のS.P包装体はその周辺がすべて熱接着されているため引き裂いて開封することが容易でなく、一度引き裂きに失敗すると、その部分のフィルムが延伸された状態となり、ますます裂き口がでにくくなる。このことから予め開封用切れ目を設けることが提案されているが、製作工程が多くなりコストが嵩むという不利益の

他に予期せざる要因により裂け目が生じると共に防湿効果に難点がある。

本考案は上述したとき問題点を認識し、単体のS.P包莖体のコーナーに接着されていないめくり片となる部分が存在し、該めくり片となる部分をそれぞれ反対方向へ引張ることによつて少なく接着されている接着部を分離し、収納物品を取り出し得るS.P包莖体を提供するものであり、例えばセロファンとポリプロピレンが重合して作られた2枚のフィルム1に薬剤などの物品2を挟み、該物品2をその収納部分3の周面において、フィルム1,1の対向面を熱接着してなるS.P包莖体において、相隣接した収納部3,3周辺の接着部分4,4間に、上下両フィルム1,1が接着されていない部分5,5を形成し、該接着されていない部分を通つてミシン目の切り取り線6を刻設し、単体の包莖体の各コーナー部分にめくり片7部分を設けたことを特徴とするものである。

第1図は本考案の代表的な態様を示し、周囲が接着部分4となつた隣接する4側の物品2から等距

離の位置に円形の接着されていない部分 5 を設け、該接着されていない部分 5 の直径方向に切り取り線 6 を設けたもので、第 3 図に示したように単体となした該包装物には、その 4 隅に接着されていない部分 5 がめくり片 7 となつて存在し、該めくり片 7 を引張ることによつて接着部分 4 を剝離し物品 2 を取り出すものである。

第 4 図は接着部分 4 を収納部 3 に沿つて所定幅のリング状となし、それによつて該接着部分 4 間に接着されていない部分 5 を形成したものである。

第 5 図は収納部 3 が方形となるようその周辺を接着し、単体の包装体として分離した際、該包装体の 4 隅に三角形の接着されていない部分 5 が残るよう切り取り線 6 の交差部に方形の接着されていない部分 5 を設けたものである。

以上のように本考案は 2 枚のフィルム 1 1 に物品 2 例えば薬片を挟み、該物品 2 の収納部 3 の周囲において上下のフィルム 1 1 の対向面を接着してなる S. P 包装体において、相隣接した収納部 3 の周辺接着部分 4 4 間に、上下両フィルム 1 1

の接着されていない部分 5 5 を形成し、該接着されていない部分を通つて切り取り線 6 を刻設し、該切り取り線 6 を使つて単体の包装体を取り出すと、第 3 図に示したようにそのコーナー部に接着されていない部分 5 5 が存在することになり、該接着されていない部分 5 がめくり片 7 となる。従つて上下 2 枚の該めくり片 7 を持つて引張れば、接着部分 4 が少ないこともかかわつて容易に剝離することができ、労せずして確実に物品 2 を取り出すことができるものであり、薬剤や調味剤などの物品に最適の包装体となる。

4. 図面の簡単な説明

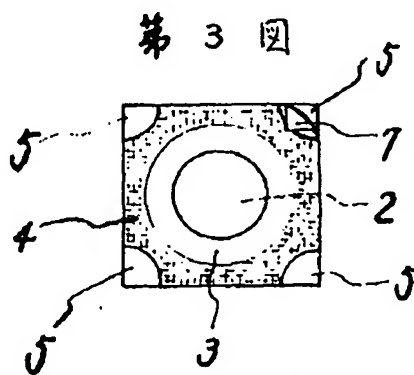
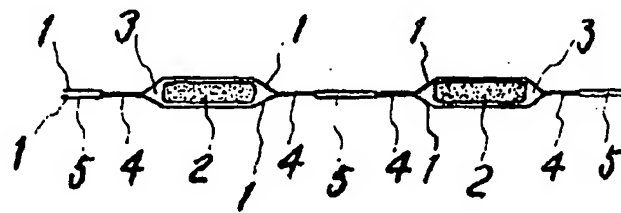
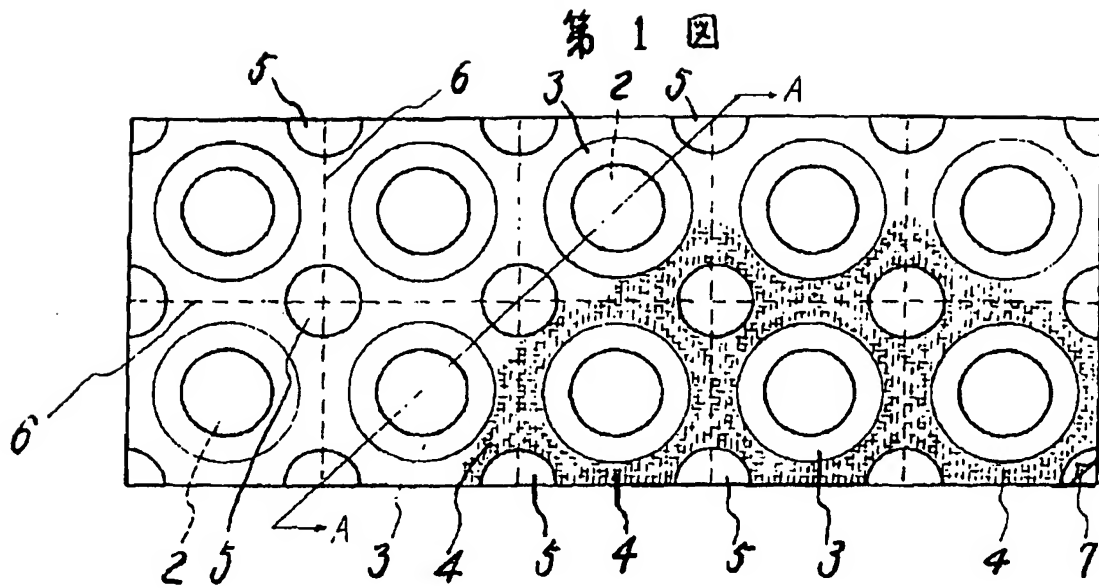
図面は本考案の実施例を示し、第 1 図は平面図、第 2 図は第 1 図の A—A 線断面図、第 3 図は単体の包装体を示す平面図、第 4 図および第 5 図は第 1 図と異なる態様を示したそれぞれ平面図である。

- 1 … フィルム、
- 2 … 物品、
- 3 … 収納部、
- 4 … 接着部分
- 5 … 接着されていない部分、

6・・・切り取り線、 7・・・めくり片、

実用新案登録出願人 株式会社カナエ

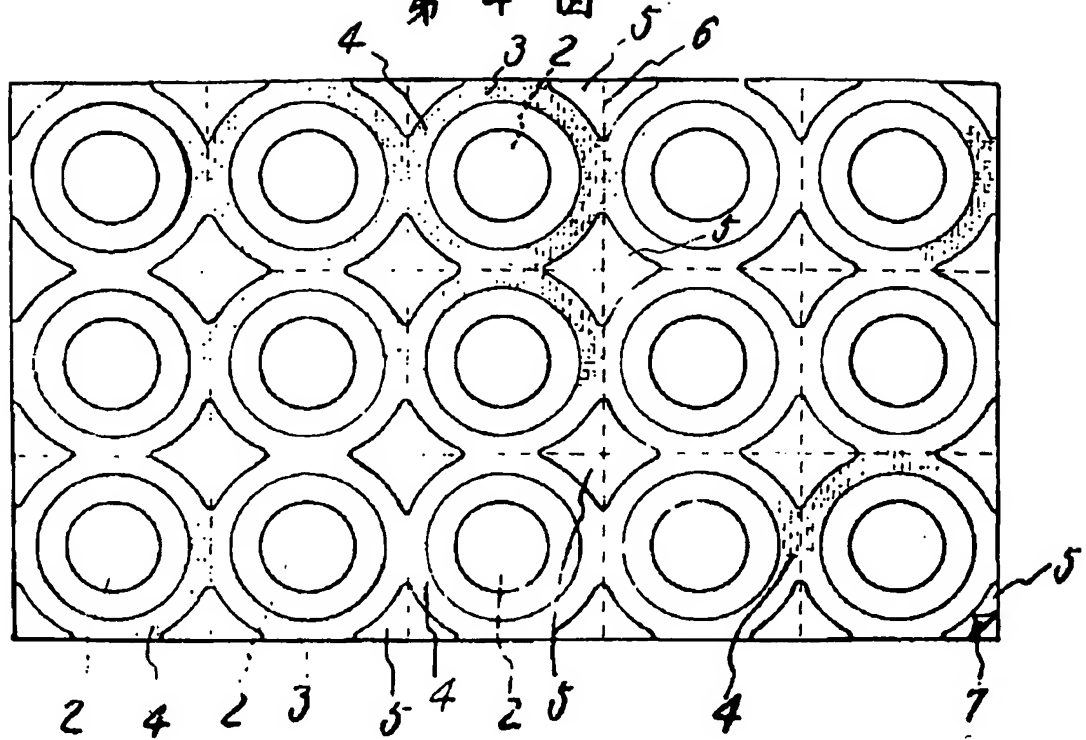
代 理 人 立 川 登 紀 雄



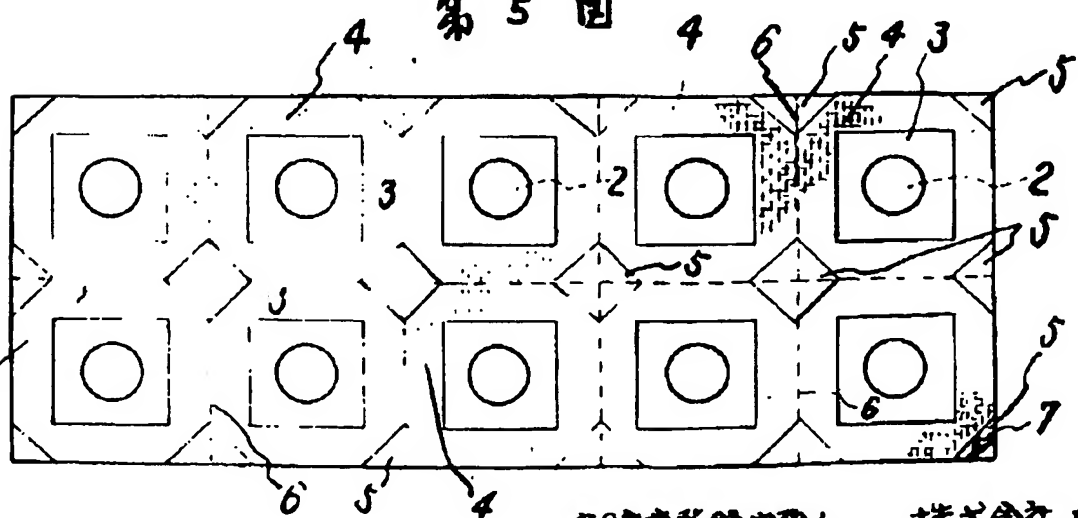
実用新案登録出願人 株式会社力ナ工

代 理 人 主川 登紀和

第 4 图



第 5 图



代理人 代理 人 主 理 人 主 理 人